3　総合評価に関する事項等

⑴　総合評価及び落札者決定方法　入札参加者は、価格及び本工事における工事目的物の性能・機能に関する事項、社会的要請に関する事項、施工上配慮すべき事項及び契約後ＶＥにつながる基本的な考え方に係る施工計画をもって入札を行い、㋐の要件に該当する者のうち、㋑によって得られる標準点、施工体制評価点（０～30点）及び加算点（０～40点）の合計を入札価格で除した数値（以下「評価値」という。）の最も高い者（複数存在する場合は㋒による。）を落札者とする。

㋐　評価対象要件

①　入札価格が予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であること。

②　提案及び提案値が最低限の要求要件（標準案）を満たしていること。

③　評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値（以下「基準評価値」という。）に対して下回らないこと。

㋑　評価方法

①　標準点　当該工事について、入札説明書等に記載された要求要件を実現できると認められる場合には、標準点100点を与える。

②　施工体制評価点及び加算点　③の評価項目について、施工体制評価点及び加算点を与える。

③　評価項目及び得点配分　評価項目（①～⑧）毎に評価を行い、①及び②における評価点の合計点を施工体制評価点とし、③～⑧における評価点の合計点を加算点とする。

○評価項目及び評価項目毎の配点（合計70点）

◆施工体制（施工体制評価点）

①　品質確保の実効性：15点（３段階評価）

②　施工体制確保の確実性：15点（３段階評価）

◆工事目的物の性能・機能に関する事項

③　品質の向上

③－１　耐久性の向上

覆工コンクリートの充填性、剥落及びひび割れ抑止等に関する耐久性向上対策（ひび割れ発生スパン数）：14点(11段階評価)

③－２　出来映えの向上

周辺環境と調和がとれた面壁コンクリートの出来映えの向上：２点（３段階評価）

◆社会的要請に関する事項

④　環境の維持

④－１　発破騒音低減対策

・集落に配慮した発破騒音の低減対策(昼夜の騒音管理値)：３点（７段階評価）

④－２　工事騒音低減対策

・集落に配慮した発破騒音を除く工事騒音の低減対策（昼夜の騒音管理値）：３点（７段階評価）

④－３　粉塵対策

・トンネルズリ運搬時の運搬路沿線住民に対する粉塵対策：２点（３段階評価）

④－４　水質汚濁対策

・トンネル掘削等に伴う、河川への水質汚濁対策（ＰＨ、ＳＳ）：２点（５段階評価）

⑤　交通の確保

・トンネルズリ運搬時における一般交通への影響低減対策：２点（３段階評価）

⑥　省資源対策またはリサイクル対策

・脱水ケーキの有効利用及び型枠等の省資源対策：１点（２段階評価）

◆施工上配慮すべき事項

⑦　出来形管理基準の向上

・覆工コンクリートの出来形管理基準の向上（高さ：内高）：３点（７段階評価）

・覆工コンクリートの出来形管理基準の向上（幅：全幅）：３点（７段階評価）

・覆工コンクリートの出来形管理値の提案（ずれ：打継ぎ目地部）：３点（７段階評価）

◆契約後ＶＥにつながる基本的な考え方

⑧　契約後ＶＥにつながる基本的な考え方

・契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなくコスト縮減が可能となる技術提案につながる基本的な考え方：２点（３段階評価）

㋒　評価値の最も高い者が２人以上あるときは、該当者にくじを引かせて落札者を決める。

⑵　技術提案資料の作成　技術提案資料は入札説明書に基づき作成するものとする。

⑶　ヒアリングの実施（施工体制の審査）　どのように施工体制を構築し、それが入札説明書等に記載された要求要件の実現確実性の向上につながるかを審査するためのヒアリングを実施するとともに、ヒアリングに際して追加資料を求めることがある（詳細は入札説明書による。）。

⑷　その他

①　技術提案に基づく施工計画の採否については、競争参加資格の確認結果に併せて電子入札システム(紙により申請した場合は、紙）にて通知する。

②　技術提案資料のヒアリングを実施する。詳細は入札説明書によるものとする。

4　入札手続等

⑴　担当部局　〒812―0013 福岡市博多区博多駅東２丁目10番７号（福岡第二合同庁舎）九州地方整備局総務部契約課契約第二係　電話092―472―6331㈹（内線2531、2532）

⑵　入札説明書の交付期間、場所及び方法　電子入札システムにより交付する。交付期間は平成22年３月５日から平成22年５月31日までの曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、９時00分から18時00分まで（最終日は入札書受付締切予定時刻である12時00分。）。

ただし、電子入札に対応していない等の理由でダウンロードによる入手ができない場合は、交付終了日の２日前までに上記⑴の担当部局に連絡すること。

⑶　申請書及び資料等の提出期間、場所及び方法

①　提出期間：平成22年３月８日から平成22年４月５日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、９時30分から17時00分まで。

②　提出場所：上記⑴に同じ。

③　提出方法

㋐　電子入札の場合　電子入札システムにより提出。ただし、容量が３ＭＢを超える場合は、提出場所へ持参し、又は郵送等（郵送は書留郵便に限る。託送は書留郵便と同等のものに限る。提出期間内必着。以下同じ。）により提出すること。

㋑　紙入札方式による場合　提出場所へ持参し、又は郵送等により提出すること。

㋒　申請書及び資料等は、提出期限以降の内容変更及び取り下げは認めない。

ただし、取り下げについては入札説明書に示す場合を除く。

⑷　入札保証金の納付等に係る書類の提出期間、場所及び方法

①　提出期間：平成22年３月８日から平成22年４月５日までの土曜日、日曜日、祝日を除く毎日、９時30分から17時00分まで。

②　提出場所：上記⑴に同じ。

③　提出方法：提出場所へ持参し、又は郵送等により提出すること。

⑸　入札、開札の日時、場所及び入札書の提出方法　入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、支出負担行為担当官(以下「当職」という。)の承諾を得た場合は、紙により九州地方整備局総務部契約課に持参又は郵送（書留郵便に限る。）すること。電送（ファクシミリ）による提出は認めない。

①　入札書の締切日時

㋐　電子入札対応の場合　平成22年５月31日12時00分

㋑　紙入札方式による場合　平成22年５月31日12時00分